

2022年5月6日

大学法人の第4の役割・責務 ――

地域・社会貢献 ― 社会事業の本格展開

～ 付随事業と収益事業への多様な挑戦／大学の諸資源／起業・事業化の実際 ～

【5月24日（火曜日）開催】

ご参画・ご派遣のお願い

大学の機能として、“教育”“研究”“地域・社会貢献”の3つが掲げられます。小会では、第4の役割・責務として“社会事業”を提起しております。2009年12月に「社会事業体の構想力と先進学園事～“収益”事業から“非営利・公益”事業への進化」をテーマにセミナーを企画しております。また、12年12月には「教育研究・人財育成、そして社会事業体」セミナーを開催し、グローバル・協働型社会を拓く大学セクターの先進事例について、報告いただきました。

そして現在、各大学法人におかれては、「智慧」と「人財」を有する“知のコミュニティ”としての諸資源を活用し、「社会事業体」としての多様な挑戦を本格展開しております。

さて、2021年10月に文科省私学行政課は「文部科学大臣所轄学校法人が付随事業及び収益事業を実施する際の扱い等について」という通知を发出しております。

下記のウェブサイトでは、「付随事業」と「収益事業」の違い、事前相談を要する場合等、関連の告示・通知を掲載しています。

・文科省「学校法人における付随事業・収益事業」

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shiritsu/fuzuishueeki.html

本セミナーでは、「収益」「付随」「公益」事業等、大学法人における社会事業の展開をテーマに、基調となる講義と、3大学から事例をご報告いただきます。

第1講の大槻達也氏（桜美林大学）からは、私大法人における財源の多様化、政策提言等、私学法上の収益事業規定、収益事業に関する種類やこれまでの経年変化、類型と具体例を整理いただきます。そして、指定管理受託や出資会社の急増などの近年の動向から今後の課題について、基調となるご講義を賜ります。

第2講の平賀洋一氏（植草学園）からは、植草学園が2013年から収益事業として「千葉県生涯高等学校の指定管理者としての請負業」を行っている管理運営の実際について、千葉県内5地域に設けている「5学園」の取組み、学校運営の実際、さらに新型コロナウイルス禍による休校の衝撃と再開の経緯について、ご報告をいただきます。

第3講の酒井克也氏（立命館）からは、社会共生価値の創造に向けて、資金運用から起業・事業化への展開、2019年9月にスタートした「RIMIX（立命館社会起業家支援プラットフォーム）」の学園としての一体的な取組み、さらに21年6月に設置された「起業・事業化推進室」による教育と研究の両側面からの支援の実際や学内外のアクターとの協働の展開についてご報告をいただきます。

第4講の田村耕一氏（徳島大学）からは、2016年10月に徳島大学で設立された（一社）大学支援機構の取組みについて、メイン事業であるクラウドファンディングサイト「Otsucle（おつくる）」の実績と特徴、そして大学と地域をつなぐコネクト事業の展開や賛助会員の拡大等の取組みについて、ご報告をいただきます。

大学法人の第4の役割・責務 ——

地域・社会貢献 — 社会事業の本格展開

～ 付随事業と収益事業への多様な挑戦／大学の諸資源／起業・事業化の実際 ～

■講師陣

大槻 達也 氏 / 桜美林大学 大学院 国際学術研究科
大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム長 教授

平賀 洋一 氏 / (学) 植草学園 事務局 地域連携推進室長
植草学園大学・短期大学 特命教授

酒井 克也 氏 / (学) 立命館 財務部長 兼 総合企画部長 (起業事業化推進) 【オンラインでのご出講】

田村 耕一 氏 / (一社) 大学支援機構 代表理事
(国) 徳島大学 理事 (広報・渉外担当) 【オンラインでのご出講】

■内容

※ 私大法人の財源多様化と収益事業／私学法の規程／種類と類型／具体例と経年変化
／出資会社急増

※ [植草学園] 千葉県生涯高等学校の指定管理／9年余の5学園運営の実際／コロナ禍の衝
撃と再開

※ [立命館] 社会共生価値の創造／起業・事業化へ／R I M I Xの取組み／学内外のアク
ターの協働

※ [徳島大] 大学支援機構の設立後6年／CFによる研究者・学生、行政・地域支援／コ
ネクト事業

■講義テーマ・主な項目

●10:00～11:00

□ 私大法人における財源多様化と収益事業の展開
～ 収益事業の類型と経年変化、出資会社の急増 ～
大槻 達也 氏 / 桜美林大学

1. 財源多様化と収益事業

- (1) 財源構成の状況 (2) 財源多様化に関連する政策提言等
(3) 財源多様化の選択肢としての収益事業 (4) 私立学校法の収益事業規定

2. 収益事業の実態

- (1) 収益事業の種類 (2) 収益事業の経年変化
(3) 収益事業の類型と具体例
(4) 収益事業からの学校法人会計繰入額等の推移

3. 収益事業をめぐる近年の動向等

- (1) 指定管理者制度による公の施設の管理受託
(2) 出資会社の設立と配当・寄付の受入 (3) 国立大学法人の収益事業展開
(4) 今後の課題

◇ ケース・スタディ ◇

●11:10～12:30

A. [植草学園] 「千葉県生涯高等学校 <5学園>」の管理運営と実際
～ 2013年から指定管理者／学部・コース・専攻科のプログラム ～
平賀 洋一 氏 / (学) 植草学園

1. 千葉県生涯高等学校とは？ (「コロナ禍」前夜の運営状況)

- (1) 学校運営の基本的考え方と理念 (高齢者のセカンドライフの充実のために)
(2) 高齢者の「生きがいづくり」「健康づくり」「中間づくり」支援
(3) 学部・コース・専攻科のプログラム (地域貢献の担い手育成のために)

- (4) 指定管理による学校運営の実際
- 2. 「コロナ禍」による2年間の休校の衝撃
 - (1) 「コロナ禍」による一斉休校の波紋
 - (2) 休校に伴う指定管理料の大幅削減
 - (3) <5 学園>の現場スタッフの大幅削減（苦渋の職員雇い止め）
 - (4) 施設維持管理と学生・職員のモチベーションの維持の取組
- 3. 生涯大学校の再開に向けて
 - (1) 在学生への情報提供（オンラインミーティングの試みと課題）
 - (2) 再開カリキュラムの準備と新型コロナウイルス感染防止対策の構築
 - (3) 専現場スタッフの再整備と人事刷新（再雇用と新規採用）
 - (4) 安全・安心な学園運営の再開と正常化に向けた第一歩

●13：30～14：50

- B. [立命館] 社会共生価値の創造に向けた起業・事業化の展開
～ 学内外のアクターとの協働プラットフォームの取組み ～
酒井 克也 氏 / (学) 立命館【オンラインでのご出講】

- 1. 資金運用から起業・事業化への展開
 - (1) 資金運用の到達点から出た課題意識
 - (2) 卒業生・金融機関のヒアリングからの検討
 - (3) 投資資金が教育・研究に流れるエコシステムの構築に向けて
- 2. RIMIX（立命館社会起業家支援プラットフォーム）の取組み
 - (1) RIMIX について
 - (2) 立命館学園としての一体的な取組み
 - (3) 卒業生・教職員を支援するファンドの設定について
- 3. 起業・事業化推進室の設置による社会共生価値の実現に向けて
 - (1) 起業・事業化推進室の設置
 - (2) 教育と研究両方の側面からの起業・事業化支援
 - (3) 学内外のアクターとの社会共生価値の創造に向けて

●15：00～16：20

- C. [徳島大] 徳島大学発クラウドファンディング「0tsucle（おつくる）」
～ 研究者や地域を応援するプラットフォームの構築 ～
田村 耕一 氏 / (国) 徳島大学【オンラインでのご出講】

- 1. 一般社団法人大学支援機構の設立
 - (1) 背景 ～ 多様な外部資金の獲得
 - (2) 目的 ～ 未来をつくる研究・教育・社会貢献への支援
 - (3) これまでの歩み
- 2. 0tsucle（おつくる）の現状
 - (1) 0tsucle の実績
 - (2) 大学にとっての意義
 - (3) 研究者・学生案件
 - (4) 行政・地域貢献案件
 - (5) 0tsucle の特徴
- 3. 大学支援機構の課題と今後の展望
 - (1) 研究者紹介と継続的支援
 - (2) コネクト事業の展開～ 大学リソースと企業・地域をつなぐ事業の展開
 - (3) 賛助会員の拡大

~~~~~  
■ 日時・会場・参加費

- 日 時：2022年5月24日（火） 10：00～16：20  
○会 場：アクセア麹町会議室（東京・麹町）  
千代田区麹町2-2-4 麹町セントラルビル9階  
東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」6番出口より徒歩2分  
東京メトロ有楽町線「麹町駅」3番出口より徒歩7分

※ 返信メールの送付をもって参加申し込みの完了となりますので、必ずご確認ください。

○参加費：

- A. 当日対面またはオンライン参加  
ご一名（資料代含む） 41,000円（税込）  
B. メディア参加  
（資料・音声CD送付） 44,000円（送料、税込）  
C. 高等教育同人 21,000円（税込）

※当日オンライン参加は、ウェブ会議システム「Zoom（ズーム）」を使用予定です。  
※メディア参加とは、開催後に当日配布資料及び音声CDをご送付する参加形式です。  
※当日対面またはオンライン参加で、さらに音声CDをご希望の方は、その旨をお伝えください。別途CD代をご案内いたします。

■ 申込方法・支払方法

所要事項を記入のうえ、E-mail または FAX にてご送付ください。（下記留意事項も必ずお読みください）

※留意事項

- ・参加費の払い戻しはいたしませんので、申し込まれた方が都合の悪い場合は、代理の方がご出席ください。
- ・ご請求なき場合は、振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

※E-mail でのお問い合わせ・お申込みの際には、下記事項を記載いただきますようお願い致します。

セミナー名：地域・社会貢献 ― 社会事業の本格展開（5/24 開催）

1. 当日会場 or 当日オンライン参加 or メディア参加
2. 勤務先：所在地住所、TEL・FAX
3. 参加者：氏名、所属部課・役職名、メールアドレス
4. 連絡担当者：氏名、所属部課・役職名、メールアドレス
5. 支払方法：銀行振込 or 当日払い
6. その他の特記事項：請求書／見積書／領収書の要・不要  
（「要」の場合は書類に記載する宛名）など

■ 支払方法

- 支払方法：銀行振込・会場での当日払いがあります。  
銀行振込の場合は、下記の口座です。  
みずほ銀行麹町支店 普通 1159880  
三菱UFJ銀行神田支店 普通 5829767  
三井住友銀行麹町支店 普通 7411658  
口座名：(株)地域科学研究会